

にっぽん文楽 in 難波宮 特別企画

開演前、会場内では文楽の義太夫・三味線・人形それぞれの魅力や、組み立て舞台はどんなものかを体感できる特別企画を用意しています。写真撮影自由。文楽グッズ販売等もございますので、開演前のひとときをどうぞお楽しみください。

組立舞台解説・見学 【解説役】 田野倉徹也（建築設計） / 宮大工さん（菜の実建築工房）

組立舞台は、昨年9月、銘木の産地である吉野から切り出された檜をふんだんに使ってつくられたものです。そもそも組立舞台とは何か、どうやってつくりあげるのかをお話しします。見学では、舞台に上がって匠の業を間近に感じてください。



太夫・三味線の解説 【解説役】 太夫：豊竹靖大夫 / 三味線：鶴澤清丈

人形浄瑠璃 文楽は、太夫・三味線・人形の3つの要素で成り立っています。太夫が語る義太夫節の独特な語り口や、それに合わせる三味線の演奏について、実演も踏まえながらその魅力に迫ります。

人形の解説・体験 【解説役】 人形：吉田一輔

文楽の人形は、1体を3人がかりで操作する、世界でも珍しい技法を使います。3人の人形遣いの役割や人形の仕組みなどの解説、運が良ければ実際に人形遣いの体験もできます。

グッズ販売、会場内写真撮影など 店舗：NPO文楽座、文楽せんべい本舗 等

開演前は解説企画中もすべて写真撮影が可能です！総檜の舞台、幟や幔幕など「和」の非日常空間の中で、文楽人形とのツーショット撮影はいかがですか？NPO文楽座オリジナルグッズや文楽せんべい、日本酒などの販売もございます。

【タイムスケジュール】

グッズ販売、会場内写真撮影など：開場～開演まで、終演後

組立舞台解説・見学（約20分）：

昼の部：12：30～12：50 / 夜の部：17：00～17：20

太夫・三味線解説 / 人形解説・体験（それぞれ約30分）：

昼の部：①13：00～13：30、②公演中「二人三番叟」終了後
夜の部：①17：30～18：00、②公演中「二人三番叟」終了後

太夫・三味線解説 / 人形解説・体験は、各回、実施時間が入れ替わります。

	17日		18日		19日		20日	
	①	②	①	②	①	②	①	②
昼の部	太・三	人形	人形	太・三	太・三	人形	人形	太・三
夜の部	人形	太・三	太・三	人形	人形	太・三	太・三	人形

※内容・出演者に変更がある場合があります。あらかじめご了承ください。